平成24年 12月15日号

放射線対策NEW

掲載情報は個別に記載したものを除き12月4日現在のものです

柏の放射線対策を振り返る 平成24年

福島第一原子力発電所の事故から1年9カ月がたち、市では3月に策定した柏市除染実施計画に基づき、 市内における放射性物質の分布傾向に合わせた対策・支援を進めています。今号では、今年1年間に市が 行ってきた対策の概要や、現在行っている支援の内容をあらためてお知らせします。

問放射線対策室☎7168-1036·放射線量測定コールセンター☎7168-1037

放射線対策

1除染

公共施設の除染を順次行ってきました。8月末には 小学校の除染が、10月末には保育園・幼稚園の除染が

完了し、中学校も今月末 には完了する予定です。 また、公園や屋外スポー ツ施設の除染も進んで おり、来年の3月末には 約70%の施設で除染が 完了する見込みです。



▲校庭の表土削り(高田小)

2測定

- ●空間放射線量=各公共施設で1~6カ月に1回程度、 定点の測定を行ってきました。12月1日には、市内 の網羅的な空間線量として、市内道路の車載走行 や、駅周辺の歩行による測定結果を公表しました。
- ●積算線量=昨年10月~今年9月末の1年間、子ども の施設(幼稚園、小・中・高等学校、保育園等)におい て積算放射線量の測定を行いました。
- ●モニタリングポスト=3月下旬に、県が田中小学校に設置 したモニタリングポストによる測定が開始されました。

3食品検査

水道水・市内産農産物・給食・市民の持ち込み品(自家 消費品)などの放射性物質検査を行っています。

種類	検査対象と頻度
水道水	▶ 利根川水系江戸川の水=毎日▶地下水(井戸水) =月1回▶市水源地出口の水(各家庭に送る水)=週 1回
農産物	その時期に生産された市内産の農産物を平日毎日
給食	認可保育園〉実際に提供した給食=各園年6回程度、市立小中学校〉使用する食材=月2~3回〉実際に提供した給食=自校方式は各校年5回程度・給食センターは毎週(給食の実施期間中)※キッズルーム、私立幼稚園でも実施
市場流通品	デパート・スーパー・市場・製造所などから買い上げた 流通食品・市内加工食品等を月1回
市民の持ち 込み品 (自家消費用)	家庭菜園の野菜・自宅の庭に自生している果実・井 戸水などを平日毎日(申し込みが必要)

支援内容

●自宅の状況を把握する

- ●訪問測定と除染相談=測定員が家庭を訪問し、 地表から1メートル・地表面の高さを測定、その結果 に基づき、各家庭に合わせた対策を提案しています
- ●測定器の貸し出し=信頼性の高い測定器(エネル ギー補償型のシンチレーション式測定器)を最長 3日間貸し出ししています

2対策を考える・行う

- ●動画「放射線量の低減に向けて」・小冊子「子どもと 未来のために」=市内の空間放射線量の状況、放射 線防護の考え方、具体的な作業方法などを動画・小 冊子にまとめ、配信・配布しています
- ●除染道具の貸し出し=除染作業に必要な道具を、 最長3日間貸し出しています

❸放射線等を学ぶ

●放射線出張講座=放射線の基礎知識、市の放射線 対策、除染の方法等、講師の派遣を行い、講座の運 営をサポートします

4町会等で考える・行う

●町会等支援=地域の生活道路やマンションの共用部 分などの除染作業を町会・自治会・管理組合等でご協 力いただける場合、除染アドバイザー(市職員)を派 遣し、作業計画の策定から必要な物資の提供、作業当 日の支援まで、一緒に取り組んでいます

◎各支援等の詳細や申し込みについては、放射線量 測定コールセンターへお問い合わせください。

町会・自治会等による地域

Q

99団体の相談を受け、その うち58団体が除染活動を行い ました(11月30日現在)。地 域の皆さん、ご協力ありがとう ございました。



▲松葉町1丁目第1自治会 (12月2日)

放射性物質の検査結果

[北部]ネギ、里芋、ホウレン草、京芋、 大根[中央]サントウサイ[南部]白菜、 ハヤトウリ、大根[手賀沼周辺]ネギ、 トマト、大根(辛味)、ブロッコリー、カ

検出下限値未満 (放七134:6.02~10.95、 放七137:5.47~9.96)

NO.023

(11月20日~ 12月4日検査分)

■給食食材 匠 🗒 学校保健課☎7191-7376

米、ホウレン草など4品目

検出下限値未満 (<u>阪セ</u>134:10、<u>阪セ</u>137:10※飲用牛乳は各1)

■小中学校(提供した給食1食分)匠 間学校保健課☎7191-7376

自校調理14校、給食センターの提

検出下限値未満 (<u>版</u>セ134:0.9~1.4、 <u>版</u>セ137:0.8~1.5)

(11月22日~30日検査分)

■保育園(提供した給食1食分)例 間保育課☎7167-1137

公立・私立合計11園の提供食

検出下限値未満 放七134:0.56~0.71 放七137:0.56~0.78)

(11月19日~27日検査分)

■表記の説明

N=Nal(TI)シンチレーションスペクトロメータによる検査 =ゲルマニウム半導体検出器による検査 放七=放射性セシウム。

数値は各下限値。単位はベクレル/キログラム

検出下限値=使用する検査機器で検出できる最小値のこと ※検査機器が異なるため、下限値の設定が異なります。 Nal(Tl)シンチレーションスペクトロメータ検査で、数値が検出された場合、より精密な 測定が可能な「ゲルマニウム半導体検出器」で再測定を行います

品目・学校名・検査方法などの詳しい内容は、市のホームページ こ掲載しています。私立幼稚園の検査結果も見ることができます

国・東京電力への要望

月日	内容
2月17日	県内9市(柏・松戸・野田・佐倉・流山・我孫子・鎌ケ谷・ 印西・白井)で、国に対し市町村等の除染実施に対す る国費による措置に関して要望書を提出
3月29日	東京電力に対する放射線対策費用を請求(第一次分)
10月17日	東京電力へ放射能対策に要した費用に対する直接 賠償体制の早期確立を要望
11月9日	県内5市(柏・松戸・流山・我孫子・印西)で、国に対し 指定廃棄物の最終処分場の確保に関して緊急要望

※3月29日の東京電力への請求に対しては、11月5日に焼却灰対 策費用の一部として約9,700万円の入金が、10月17日の東京 電力への要望に対しては、11月15日に回答がありました

平成25年は…

引き続き、柏市除染実施計画の下、市内の状況を皆さんに お伝えしながら、対策・支援を続けていくとともに、国・東京 電力への要望活動も行っていきます。

層 広 13 思います。



とあらためて痛感しまあり、安心である場所校という場は、子ども今回の経験から思うこ つ 立って対 所 ました。もちろん、別でなければならいたちにとって安 環境を見渡す必応していました

これ

まで

もそう

思

こで学 とあ校 ラ

▲PTAで植え替えた芝生広場

下になっています。 所になっています。 所になっています。 が全で無くなっては、毎 を受け、その話は終 を受け、その話は終 を受け、その話は終 を受け、その話は終 を受け、その話は終 (A) の間でなる。 にき、教職員では実 者のかたがたに比 年9月には、毎年紀 、その話は終えの相談を重ねま のかたがたに比較的ヶ月には、毎年行っ 話は終えるる が 虫探しを 仏場は、 運動 と旧を行って は子ど ま 表土 を 動 的放射線量の高かった芝生や草を刈って 一会の組体操の練習が行われたり、低学年 一削りを行いました。その後も、PTAと したりするなど、子どもたちの良い居場 もたちが残念がるだろうと、PTAのご が、市による除染工事が決まったこと いるPTAの校地内美化作業活動で 代わりに、工事で芝生 本当にありがたく思

保護者との い配されてい いた。 情報な た取 を ij 出 ŧ P T 多くいらっし Aと協力しながら対応をしてき ゃいましたので、学校とし

交換しながら対応しまが気掛かりでした。市が気掛かりでした。市が気掛かりでした。市が気掛かりでした。市が気掛かりでした。市が気がは、インとのでは、一点のでは 後どうされ イン 市と まし 入 な 夕 っれ غ で か はもちろんのこと、近隣の学校とも情報 校庭での授業や遊び、給食など一つ一 |校庭での授業や遊び、給食など一つ一つていますから、放射線が子どもたちへ及ることに努めました。 学校では900人 -ネット、市教育委員会等、いろいろなと人ってきませんでしたので、校長からの

207 ▲阿部雅彦さん

う見えな

います。

問題に、率直に「どうすればい 超に、率直に「どうすればいいのだろ対応が生じていた中で、さらに放よって、すでに学校ではいくつかのよって、すでに実災そのものの影響に 思います。

この問題が取り上げられてすぐ、報

報は、昨年の3月下旬ごろに

した当時の状況は?

圓放射線対策室☎7168−1 柏の放射線量が高いことを認

雅彦さんにインタビュー 第4回は、柏第三小学校 た内容をお伝えします。 の教頭先生で、ご自身も柏市在住の阿部 036

りとしらしか ~私が考え、行動したこと~ 放射線と向き合う 第4回